

4 金時新品種「かちどき」栽培試験（1年目）

1. 目的

帯広市地域における金時新品種「かちどき」の栽培適性を検証する。

2. 実施場所

帯広市川西町 帯広市農業技術センターほ場

3. 栽培方法

(1) 品種 : 「かちどき」

(2) 面積および区制

71. 3㎡ : 畦幅66cm×6畦×18m

(3) 耕種等概要

土壌区分	土性	前作	栽植密度	栽培方法	播種月日
沖積土	壤土	にんにく	66cm×20cm	露地	5/28

※1株2粒播き

土改資材	施肥量 (kg/10a)						防除回数	
		肥料名	窒素	リン酸	加里	苦土	病害	虫害
80kg	基肥 5/23	豆用2号 100kg	4.5	21.0	10.0	4.5	2	2
	追肥 7/27	硫安 10kg	2.1					

4. 試験結果

(1) 生育状況

播種は手押しタイプの播種機で行ったが、株間や種子深度がやや不均一で、出芽もやや不揃いであったため、随時補植を行った。6月中旬以降の低温、多雨、日照不足により生育は一時停滞し、開花期は7月18日であった。生育不良のため7月27日に追肥を行った。8月以降は生育の回復が見られたが、一部徒長し、つる化や茎折れも見られた。登熟は不均一で成熟期は9月13日となった。

病害虫は黄化病の発生がみられ、発病株率は約7%で多かった。

生育及び作業ステージ

出芽期	開花始	開花期	成熟期	刈取	脱穀
6/8	7/15	7/18	9/13	9/13	10/15

(2) 収量調査

にお積み乾燥後 10月15日に脱穀調整を行った。

子実総重量 20.1kg、製品重量 17.7kg、屑重量 2.5kgであった。10a 当たり換算では総収量 282kg、製品収量 248kg、百粒重は 81.2gであった。

品質について、腐敗粒や未熟粒等の屑粒は比較的少なく、品質は良かった。

○試験ほ場の調査結果

子実総重量(kg)	製品重量(kg)	屑重量(kg)	1株当たり莢数(ヶ)
20.1	17.7	2.5	22.2

○10a 当たり換算収量

総収量 (kg/10a)	製品収量 (kg/10a)	屑収量 (kg/10a)	百粒重 (g)	製品率 (%)
281.9	248.2	35.1	81.2	88.0

5. 考察

本年は6月中旬以降の低温、多雨、日照不足の影響で初期生育がやや不良で、開花期も遅かった。8月から生育の回復が見られ、成熟期は遅かったものの、着莢や登熟はおおむね順調に進んだ。後半の生育はやや過繁茂気味であったが、収量はますますで品質は良好であった。

生育中盤で追肥を実施したが、生育後半の過繁茂や成熟期遅れに影響したことも考えられる。今後、施肥方法の再検討が必要と思われる。

生育写真



6.25 初期生育 やや不揃い



7.19 開花後の生育 徒長みられる



8.6 黄化病の発生が見られる



9.14 成熟期が遅い（右側）

（左の島立て；きたロツソ）